

情報公開文書

【研究名称】

希少転移乳癌の局所及び全身療法に関する 国際共同後向きコホート研究

International Retrospective Cohort Study of Locoregional and Systemic Therapy in Oligometastatic Breast Cancer

【研究概要】

この研究は承認日から2019年1月まで行われどのような治療がなされどのような効果があったのかを観察することが目的でしたが（本学承認番号R1436）、研究期間を2023年1月31日まで延長し予後良好群の解明などさらなる統計解析、複数の論文化を目的に研究を継続することとなりました。

【対象となる試料・情報の取得】

京都大学医学部附属病院乳腺外科において、2005年から2012年までに再発乳癌と初めて診断された方。再発の診断時に脳転移を除く5カ所以下の転移巣を認めた方。全身療法、あるいは局所療法と全身療法を受けられた方。

【研究組織・研究責任者】

研究グループ：Federation of Asian Clinical Oncology (FACO)
Korean Society of Medical Oncology (KSMO)
Chinese Society of Clinical Oncology (CSCO) 主任研究者：
FACO 事務局
杏林大学医学部附属病院乳腺外科 井本滋

【研究実施期間】

倫理委員会承認日から2023年1月31日

【試料情報利用目的・方法について】

特別な薬物療法や新たな手術を行うような臨床試験ではありません。患者さんのカルテから収集できる情報を用いて分析し、希少転移乳がんへの最適な治療法を検討します。

【倫理審査】

この研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査において、倫理性・科学性が審査され、研究機関の長により許可を受けて実施されています。

【個人情報保護】

お名前、住所、電話番号、カルテ番号などあなた個人情報が特定できないように匿名化した情報を研究に使用しますのでプライバシーは厳重に守られます。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で、研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は下記窓口までご連絡下さい。

【当院研究責任医師 兼 情報管理責任者】

京都大学医学部附属病院 乳腺外科 教授 戸井雅和

【研究資金】

研究期間延長にあたる本研究では、当講座に関わる研究資金は講座運営資金で行われます。

本学承認 R1436 の本研究は日本、中国、韓国の乳がんの研究者が中心となって行われ、FACA（アジア臨床腫瘍学会機構）というこの3カ国の学会が共同してがん治療を開発するために設立された機構が資金援助行なわれます。

本学の研究者の利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

【同意と同意の撤回】

研究対象に該当されても研究のための情報利用を望まれない方は、本研究へは不参加であると意志表明をなさってください。データを使用することは一切ありません。ただし、すでに発表されてしまった結果については取り消すことができません。また、研究への参加を取りやめられた場合でも診療上の検査、治療等での不利益は受けません。

【ご相談・お問い合わせ】

京都大学医学部附属病院乳腺外科学講座

〒606 - 8507 京都市左京区聖護院川原町 5 4 電話:075 - 751 - 3660、FAX:075-751-3616

京都大学医学部附属病院臨床研究相談窓口

電話 075- 751-4748

E-mail : ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp